

# 時は経ても



毎月10日発行

発行所

東京都新宿区若松町17番18号 (郵便番号162 0056)

公益財団法人 合気会

(合気道本部道場)

編集人 可児 晋

電話 03 (3203) 9236 (代表)

FAX 03 (3204) 8145

購読料

1ヵ年 2,500円

郵便振替

00150-0-49527番

ご購読は、なるべく上記振替口座をご利用下さい

## 新春道言

合気道道主 植芝守央



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

本年も、大晦日23時半から元旦零時半までの越年稽古に本部並びに地域道場の会員200名が参加し、稽古に汗を流しながら新年の挨拶を交わすことが出来ました。昨年は政治・経済、地球温暖化、異常気象、地震や豪雨による災害、その上何度となく鳴らされたアラートなど安心安全とは言えない年であったと思いますが、こうして心新たに新年を迎える事は本当に幸せな事と感じております。

の点を理解下さって絶大なご支援とご協力を願っています。

「全世界に斯道(しどう)が隆盛となりつつある現在、歴史と伝統に輝く(財)合気会本部道場は、斯道の精神に即した斯界の健全な育成発展の場とする。それに相応しい合気道の殿堂にしたい。皆々様には何卒、こ

## 道歌

朝日さす  
心もさえて  
窓により  
天かけりゆく天  
照るの吾れ

## 第56回 全自衛隊演武大会

第56回全自衛隊合気道演武大会は、昨年12月2日、防衛省市ヶ谷駐屯地体育館で合気道道主植芝守央先生のご臨席の下、防衛省合気道連合会所属の自衛隊駐屯地・基地等から自衛官・事務官らが一堂に会し、盛大に行われた。

午前中は大澤勇人本部道場指導部師範による恒例の講習会が行われた。今年も日本全国から150名を超える参加者が集まり、大澤勇人先生から真剣な中にも温かい指導に汗を流しながら、稽古を通して隊員間で交流を行った。



道主による総合演武

午後1時からの開会式では、西正典大会長(防衛省合気道連合会会長)が「今年も日本全国の連合会の支

他、自衛隊OBによるOB演武が披露された。各支部はそれぞれの特徴を生かして、工夫をしている様子が見えられた。OB演武は、見ている者を魅了する巧みな技が披露され、見学者はその様子に見入っていた。

午後から行われた演武大会では、200名近くの演武者と100名を上回る観覧者の下、まず初めに、西会長による演武から進行した。演武では現役自衛隊員による各支部の演武の

## 越年稽古に200人



恒例の本部道場越年稽古は、大晦日の23時半から元旦の午前零時半まで行われ、本部並びに地域道場の会員ら200名が参加した。

稽古終了後、植芝道主から「こうして皆様と共に稽古を共にし、清々しく新年を迎えることが出来ました。先人への感謝をもちながら気持ち新たに、稽古を大事にしなす皆様と頑張っていきたいと思っております」と挨拶があり新年のスタートを切った。直会が行われ、和やかに幕を閉じた。

初春稽古始め  
平成30年の本部道場稽古はじめは、6日午前6時半より、本部道場3階道場にて、植芝守央道主の指導で行われた。

- ◆今年主な行事◆
- 1月6日(土) 稽古始め(本部)
- 1月13日(土) 全日本合気道連盟役員会(本部)、全国道場・団体連絡会議(本部)、新年賀詞交換会(京王プラザ)
- 1月14日(日) 鏡開き式(本部)
- 1月29日(月) ~2月7日(水) 寒稽古(本部)
- 1月10日(土) 11日(日) 中学校武道授業法研究事業(日本武道館)
- 2月24日(土) 25日(日) 指導者講習会(日本武道館)
- 3月20日(火) (公財)合気会理事会
- 4月2日(火) 3日(水) 4日(木) 合気道学校前期開講式「初級・上級・中級」(本部)
- 4月26日(木) 開祖御命日、開祖・吉祥丸二代道主を偲ぶ会(本部)
- 4月29日(日) 合気神社大祭(笠間市・合気神社)
- 5月中旬(公財)合気会理事会・評議員会(本部)
- 5月26日(土) 第56回全日本合気道演武大会(日本武道館)
- 7月15日(日) 第40回全日本少年少女合気道錬成大会(日本武道館)
- 7月23日(月) ~8月1日(水) 暑中稽古(本部)
- 8月4日(土) 第17回全国高等学校合気道演武大会(東京体育館)
- 8月22日(土) 学校武道実技指導者講習会
- 9月15日(土) 16日(日) 茨城支部道場講習会
- 10月1日(月) 2日(火) 3日(水) 合気道学校後期開講式「初級・上級・中級」(本部)
- 11月17日(土) 第58回全国学生合気道演武大会(日本武道館)
- 12月25日(火) 稽古納め(本部)
- 12月31日(月) 越年稽古(本部)

## 入身転換

今年も元気に合気道の稽古に精進したいと願う年明けだ。同時に、目まぐるしく変化する世界情勢が今年と祈る年明けでもあり、年明けの漢字で「北」が選ばれた。次点以下は政治の「不」や、不安や不透明の「不」、更に核実験の「核」などが続いた。キタサンブラックなどの活躍もあったが、明らかに北朝鮮をめぐる問題が人々の関心事であったことが分かる。特にICBM級のロケット打ち上げが極度の緊張をもたらしている。米国、日本、韓国に加え、中国、ロシアと関係国が多いが、何とか平和裏に解決してもらいたいものだ。

年末に日本のH2Aロケットが種子島から打ち上げられた。同じロケットでも人類の未来に貢献するものである。地球温暖化対応の気候変動観測衛星「しきさい」と超高度軌道にのせた技術試験機「つばめ」の2機の人工衛星を異なる軌道に打ち上げた。今回の打ち上げを可能とした日本のロケット技術の向上は商業衛星ビジネスに弾みをもたらすものとなる。

(可児 晋)

# 指導者研修会開く

第5回合気道授業指導者研修会は昨年12月8日から10日まで日本武道館研修センター（千葉県勝浦市）にて開催された。（主催（公財）日本武道館、（公財）合気会）本研修会は学校教育における合気道の指導法に関する実技と講義を行い、学校における合気道の指導の充実を目指すことを趣旨に行われ5年目を迎えている。特別講師に植芝守



合気道について説明する道主

央道主、講師に立木幸敏国際武道大学体育学部教授、川城健元特任准教授、坂本静男早稲田大学スポーツ科学術院教授、尾崎响全日本合気道連盟理事長、林典夫（公財）合気会理事、金澤威本部道場指導部師範、森智洋同師範、日野皓正同指導員を迎え、保健体育科教員7名、大学生・学



手引書に沿って実技を確認した

校関係7名、全国の都道府県より連盟関係者61名が参加した。8日開講式では主催者と植芝道主が「本研修会のご参加ありがとうございます。合気道を採用している全国の中学校は46校とまだ少ないですが、改訂された中学校学習指導要領に合気道を含め全武道が明記されています。今後は合気道を選択する中学校が更に多くなるかと思えますので保健体育科の教員はもう一歩、地

域の指導者は要請があった場合に対応を取れるようお願いします。植芝道主は「本研修会に三藤芳生（公財）日本武道館理事・事務局長より「指導者の一挙手一投足が生徒にとっての教科書となります。本研修会で具体的な指導法を学び、研修を積んで指導の向上を図るよう、充実した研修会として今後の中学校授業へと繋げてくださいます。挨拶が、研修会の最初は植芝道主による「合気道とは」の講演で、合気道の歴史、稽古方法、技法の説明があった。続いて川城元特任准教授による「中学校武道必修化に伴う体育授業（教化科目）における合気道の指導について」の講義が行われ、道場と体育授業における指導の違いを明確にする事を強調した。合気道な

茨城道場で「道主を囲む会」  
昨年12月3日午前11時より、同年最後の合気神社月次祭が執り行われた。植芝守央道主は合気神社にて祝詞を奏上され、約130名が共に参拝し、記念写真の撮影を行った。続いて正午より、例年の「道主を囲む会」が茨城支部道場で開催された。まず主催者の飯島悦男茨城合気道連盟理事長が挨拶を行った。続いて常井洋治県議会議員、来實の山口伸樹等間市長、村上典男県議会議員、磯山博茨城支部

らでは面白さ、楽しさを生徒へ伝える事で「生涯スポーツ」に繋がる授業になると説明した。9日は日野指導員による中学校合気道指導法①②が学校合気道指導法③が学校関係者を対象に「合気道指導の手引」の解説と中道指導の解説、水分補給の目安、治療法の説明があった。続いて金澤師範による中学校合気道指導法④が行われ、3年次を対象にした技法の解説、練習が行われた。10日は林理事司会進行のもと全国指導者研修②が行われた。日野指導員による足立区の都立江北高等学校への視察報告、新潟県加茂市の中学校武道実習による合気道授業の実施報告、初山直樹仙台市立高森中学校保健体育科教諭、福田豊仙台市立生田中学校保健体育科教諭による実践例報告があり、合気道の授業を始め経緯、授業内容、生徒の反応を詳しく説明した。閉講式では主催者を代表して植芝充央本部道場長より挨拶があり、吉野喜信（公財）日本武道館振興部長より受講者代表に終了証が渡された。また8日9日の夜には参加者全員での懇親会、情報交換会が行われ、地域や参加区分を超えて大いに交流が深められた。

道場相談役など多くの方が祝辞、挨拶を行った。続いて、道主は「私自身も先月アルゼンチンに、植芝充央本部道場も現在南アフリカに行き、合気道が地球の様々な国に広がっていることを実感しております。開祖が昭和36年ハワイを訪問する折、合気道を通

指導の留意点」の講義が行われた。坂本教授はスポーツに関連した突然死について原因、予防策として定期的なメタボリックチェック、日常的なスポーツ実施時のチェックの重要性を説明した。また、熱中症発生に関する特徴、水分補給の目安、治療法の説明があった。続いて金澤師範による中学校合気道指導法④が行われ、3年次を対象にした技法の解説、練習が行われた。10日は林理事司会進行のもと全国指導者研修②が行われた。日野指導員による足立区の都立江北高等学校への視察報告、新潟県加茂市の中学校武道実習による合気道授業の実施報告、初山直樹仙台市立高森中学校保健体育科教諭、福田豊仙台市立生田中学校保健体育科教諭による実践例報告があり、合気道の授業を始め経緯、授業内容、生徒の反応を詳しく説明した。閉講式では主催者を代表して植芝充央本部道場長より挨拶があり、吉野喜信（公財）日本武道館振興部長より受講者代表に終了証が渡された。また8日9日の夜には参加者全員での懇親会、情報交換会が行われ、地域や参加区分を超えて大いに交流が深められた。

「道主を囲む会」が茨城支部道場で開催された。まず主催者の飯島悦男茨城合気道連盟理事長が挨拶を行った。続いて常井洋治県議会議員、来實の山口伸樹等間市長、村上典男県議会議員、磯山博茨城支部



参加者に挨拶する道主

今度も日々の稽古を大切にし、心身を鍛え、来年もまた皆様と歩んでいければと思います」と挨拶された。五十嵐雅高ひたな合気会会長の音頭で乾杯を行った。県内の道場からも多数の参加があり、会は親睦を深め滞りなく行われた。

都連が演武大会  
今回で第20回となる東京都合気道演武大会（主催東京都合気道連盟 後援東京都、（公財）東京都体育協会、（公財）東京都スポーツ文化事業団、（公財）合気会（全日本合気道連盟）は、昨年11月23日午前11時から、足立区綾瀬の東京武道館で開催された。当日は朝から強めの雨模様であったが昼頃から晴れたり、演武大会を祝福しているようであった。当日は88団体から千人を超える演武者が集まった。

第一部・第四部は団体演武が行われ、各道場の個性豊かな演武が披露された。第二部は高校生演武として若い世代のフレッシュな溢れる演武が行われ、今後の合気道の発展を期待させられた。第三部は代表者演武として加盟団体を代表する個人演武が行われた。最後に第五部は本部道場指導部演武として藤巻宏本部道場指導部師範率いる師範・指導員による基本技から総合演武までの演武が行われ、盛況のうちに閉会となった。

開祖のお言葉  
次に掲載します開祖のお言葉は昭和44年1月号、開祖が亡くなった年の新春のお言葉である。

「世は移り変わり、昭和44年の新春を目前に迎えます。今後はますます皆さんにお答えするよう修行して、そして充分なるよう成果をあげたいと切に思

たいと思う。「三千世界一度に開く梅の花、ウントラの金神の世になつたぞよ」ということと同じである。合気の道においては天の浮橋、すなわち天の浮橋に立ち上る。宇宙組織のことである。統一することもある。ちょうど「ス」という言葉があるが、一つにまとめて統一することは統一の状態にしないで行けないわけである。宇宙は呼吸している。私達も宇宙を自分で呼吸して

いる。宇宙をこしらえているともいえる。だから合気の道は大変な仕事をしなくては行けないのである。キリストも、釈迦も弘法大師も大変な仕事をした。私も先人に劣らず確りとやる覚悟である。すべては宇宙の魂のヒビキによって行われる。これですべてを行つのである。合気は宇宙組織のヒビキに神習つのである。それは真人養成の道になるのである。そして智育、徳

のである。日本の武道はヒビキによって生まれてきたのである。これらは無限の力を生み出し、又愛の力をもって世の人々を大切に導いていくものである。合気は愛である。仲良く和合していくのである。松の仕組みである。以上は合気の律法ともいべきものであるが、すなわち（一）合気は和と統一で三界を結ぶべし。（二）合気は宇宙組織のヒビキに神習つて真人養成の道を進むべし。（三）

合気は気育、智育、徳育、体育と常識の涵養である。昭和44年の新春を迎えるにあたって、相共に和合して誠一途に、ますますの精進とご多幸を祈願する。相共に和合するということは合気の本義に從つてすることである。そして世界平和の建設を、この道に通して進みたいと念ずる。要するに先述の三綱目の合気の律法で大いなる前進を期待して、ここに新年の挨拶とかえる次第である。

また8日9日の夜には参加者全員での懇親会、情報交換会が行われ、地域や参加区分を超えて大いに交流が深められた。

小牧で講習会  
第17回小牧合気会講習会は、昨年11月19日、磯山博本部師範をお迎えして小牧

午後4時より千代田区一ツ橋の日本教育会館にて情報交換会が170名を超える出席者で会場は熱気に溢れる中行われ、無事と氣満々の中終了した。（東京都合気道連盟理事 荒井美貴子）

また、各道場の指導をさされている方々には、稽古では「捌き」について、「一手指き・足捌き・体捌きの順に指導すること、更に指導をする際、口で如何に伝えるかの「口捌き」の重要性のお話を頂くなど、盛り沢山の稽古となりました。講習会となりました。（小牧合気会 安田透）



全日本合気道連盟

理事長 尾崎 响  
常任理事 林 典夫  
同 宮本 鶴蔵  
同 小林 幸光  
他一同

国際合気道連盟

理事長 井沢 敬  
事務総長 ウィルコフリースマン  
財務総長 貞國 鎮

東京都合気道連盟

理事長 藤城 清次郎  
役員一同

北海道合気道連盟

会長 藤井 幸一  
理事長 南雲 州治  
(他会員一同)

才ホーツク中湧別道場

道場長 尾崎 响 指導部長 松田茂満  
道場代行 尾崎かほる 事務局長 本田淑子  
〒099-1636  
北海道紋別郡湧別町中湧別北町二二三  
電話・FAX 〇二五八六一二一四六

東北合気道連盟

会長 日高 浩(岩手県)  
理事長 船越光雄(山形県)  
副会長 白川勝敏(宮城県)  
同 横山清一(秋田県)  
同 田辺孝美(青森県)  
同 清野和浩(福島県)

青森県合気道連盟

会長 田辺 孝美  
理事長 米谷 恵一  
事務局長 高坂 修一

岩手県合気道連盟

会長 日高 浩  
副会長 竹鼻 義徳  
理事長 菊池 敏昭  
事務局長 鋤柄 敏

合気道盛岡道場

盛岡合気道協会

宮城県合気道連盟

会長 白川 勝敏  
理事長 渡邊 新  
(事務局) 仙台市役大沢一丁目六十九番  
事務局 〇五五二二二二二  
sainin@sainin.ne.jp

茨城県合気道連盟

会長 常井 洋治  
理事長 飯島悦男 常任理事 桑原 隆  
常任理事 稲垣繁實 同 五十嵐雅高  
同 渡引好文 同 海老原弘一  
理事・監事一同

水戸合気会

水戸市合気道スポーツ少年団  
会長・団長 飯島 悦男  
会員・団員一同

群馬県合気道連盟

代表 荒井 俊幸

合気道山徳道場

荒井 俊幸

埼玉県合気道連盟

会長 武正 公一  
理事長 三輪 明  
<http://sainoaki.com/>

志木合気会

創立30周年  
代表 三輪 明  
道場 志木市民体育館(柔道場)「東武東上線柳瀬川駅(徒歩10分)本八ヶ丘」  
<http://shiki-aiikai.net/>

合気道修練道場自然館

館長 吾妻 正義

入間市合気道連盟

会長 関戸 章弘  
入間幸武館道場  
館長 中島 正吉

合気道明心会

会員一同

久喜合気道同好会

会員一同

蓮田合気会

合気道大宮道場

会員一同

大宮合気道倶楽部

会員一同

浦和合気会

会長 林 昭男

A&P合気道石垣道場

道場長 石垣 晴夫  
〒三三〇〇〇六  
さいたま市浦和区常盤九八二一五 松本七九三番  
電話・FAX 〇四八二二一〇 六五〇  
さいたま市浦和区元町三三三二二一〇四号  
電話 〇八〇六七二一九 二二二一〇四号

草加合気道研究会

会長 中道 一也  
副会長 宮澤 義治  
<http://sokakiken.webnode.jp/>

新所沢合気道同好会

会長 山上 三二一  
師範 針 すなお  
〒三五九二二二  
埼玉県所沢市緑町一六一七五〇二  
電話 〇四二九四〇八八二

千葉県合気道連盟

会長 高橋 嗣慶  
理事長 吉川 滋

合気道花見川道場

道場長 等々力 敏夫  
〒二六二〇〇四  
千葉県花見川区花見川一〇二〇一  
電話 〇四三三三二五八 五七二二三

野田合気会

会長 山中 紀光  
会員一同

柏合気会

会員一同

江戸川区合気道連盟

理事長 藤城 清次郎  
理事・会員一同  
〒三三〇〇五六  
東京都江戸川区南小岩一三三二六  
FAX 〇三三三三三三三 三三三三三三  
電話 〇三三三三三三三 三三三三三三

新小岩合気会

合気道土井道場

葛飾合気会

合気道進藤道場

道場主 進藤 芳子  
〒三三六〇〇七四 江東区東砂二丁目三番号

鋤守道場

道場長 鋤守 和徳  
指導部長 松丸 裕

中野区合気道連盟

会長 松本 肇

祖師谷合気会

会長 中村 文子  
〒一五七〇〇七三  
東京都世田谷区祖師谷六二二六二  
電話 〇三三四一五二四〇二

新宿合気会

会長 周参見 紳次郎  
会員一同

荒川合気会

会長 酒井 光雄

城南合気会

会長 塩崎 省三

港区合気会

代表 数家 誠司  
会員一同  
<http://www.minato-aiikai.com/>  
[info@minato-aiikai.com](mailto:info@minato-aiikai.com)

大田区合気道会

会長 尾崎 响  
〒143-0204  
東京都大田区中央五丁目一八  
電話 〇三三七五五二二五八

中央区合気会

会長 糸田 寛人

神奈川県合気道連盟

会長 松田 良昭  
理事長 武田 義信  
〒144-0805  
横浜市戸塚区川上町四八六一七

合気道研究会

インターナショナル  
代表 武田 義信  
〒144-0805  
横浜市戸塚区川上町四八六一七

合気道青葉塾道場

本 田 靖 生  
事務局 土曜稽古会 木曜稽古会 日曜特別稽古会  
〒113-0021 横浜市青葉区すず野三二二一  
電話 〇四五九〇二一八〇八

富山合気会

代表 島 恵司  
〒936-0021  
黒部市出島四四七  
電話 〇九〇六六七二二九四

福井県合気道連盟

会長 松原 道一  
福井道場 滝波 秀樹  
福井市松本二丁目三十五  
電話 〇七六二二二五〇  
FAX 〇七六二二二五〇  
http://aikidou.fk.jp

長野県合気道連盟

会長 萩原 清

岐阜県合気道連盟

役員・会員一同

静岡県合気道連盟

理事長 石原 克博  
他 役員一同  
〒416-0945  
静岡県富士市宮島六四〇一  
電話 〇五五六一六四七九

尾張合気会

会長 滝本 清三

大手前学院合気道教室

道場長 岩崎 一基  
〒455-0044  
名古屋市港区築三町三三六  
電話 〇五二六五三〇七四五

中央名会 氣守道場

澤田 俊晴

三重県合気道連盟

会長 杉田 憲司  
会員一同

合気道四日市合気会

会長 畝原 正典  
会員一同

津市合気道連盟

会長 杉田 憲司

滋賀県合気道連盟

理事長 吉本 邦夫  
副理事長 平野 誠  
同 清水 正男

合気道 滋賀

本部長 小川 良雄  
副部長 平居 忠雄  
幹事 野洲市小森原一丁目一四二  
電話 〇七五九一三三三

京都近江合気会

会長 高橋 光義

京都合気会

代表 小山 照雄  
会員一同

奈良県合気道連盟

理事長 窪田 育弘  
副理事長 阿部 豊雲  
専務理事 藪内 啓壽

大阪府合気道連盟

役員一同

公益財団法人 大阪合気会

代表理事 柳澤 健二

合気道大阪武育会

木村 二郎  
上村 和康

合気道大阪道友会

会長 芋野 光弘

恒心道場

大坂 恒

合気道洗心館

館長 平田 幸一  
道場 大阪市北区南森町一丁目三十三  
電話 〇七四五七三三三三

和歌山県合気道連盟

会長 九鬼 家隆  
副会長 竹中日出雄 副理事長 冷水照夫  
理事長 五味田聖二 事務局長 増尾 登  
他 会員一同

合気道熊野塾

道場長 須川 勉  
和歌山県新宮市元鍛冶町一五一一

合気道紀南田辺塾道場

平野成秋先生門下生  
正木 肇  
正木 利城 男

せいぶ館

道場長 濱崎 正司  
館長 中尾 眞吾

相生會

堀井 悦二

岡山県合気道連盟

合気道正武会  
主席顧問 壬生川 堯一  
門下生一同

鳥取県合気道連盟

松浦 一夫  
中川 政進  
濱路 政一  
朝倉 一

合気道北平塾

道場長 北平 雅一

山口県合気道連盟

会長 中村 克也  
副会長 岡田 元昭  
同 岡田 至弘

合気道合心館

館長 谷本 敏夫  
〒751-8031  
松山市美沢二丁目二二二  
電話・FAX 〇八九九三三四三三  
http://aikidou-shinkankan.jp

合気道敷島塾

会長 工藤 泰助  
〒773-0025  
徳島県小松島市中田町池内三三三  
電話 〇八八五三三二二八〇

高松合気会

会長 西原 浩  
〒760-0013  
香川県高松市扇町一丁目三三三三八  
電話・FAX 〇八七八二二八七〇四

熊本合気会

水前寺道場長 高本 和宜  
合志道場長 多田 広明

天之武産合気至聖館

熊本道場  
道場長 宮下 和道  
道場代理 木村 義雄  
師範代表 田島 勝徳

鹿児島県合気道連盟

理事長 山口 和文  
副理事長 戸井 洋孝  
〒890-0064  
鹿児島市鴨池新町三十五丁目五〇九  
電話 〇九九二二二六六三

天行健 合気道祥平塾道場

菅沼 守人

沖縄合気会

会主 山口 巖  
〒981-8571  
沖縄県那覇市栄原一丁目一七〇

公益財団法人 茨城支部道場

道場長 植芝 充央  
相談役 磯山 博 指導部 磯山 俊博  
顧問 藤枝 一弘 同 永島 義道  
総務部長 稲垣 繁實 同 平澤 憲次  
指導部 渡引 好文 同 秋本 英裕  
同 大和田 幸正 同 川上 俊明

公益財団法人 合気会

合気道本部道場

# 南アフリカ合気道連盟 創立40周年



100名以上の講習会は南ア初

## 講習会&演武会に130名

南アフリカ合気道連盟 (以下AFSA) 創立40周年記念講習会・演武会は、昨年11月30日から12月3日ケープタウンに植芝充央本部道場長が訪問し(随行は私、里館)、開催された。講習会では、AFSA指導顧問峰岸睦子グアム合気会会長、AFSAに關係する指導者も講師を担当した。ケープタウン大学のスポーツセンターにてAFSA加盟16団体とカメルーンをはじめとする近隣諸国、イギリス、イタリア等のヨーロッパ諸国から合わせて130名が参加した。

植芝本部道場長は講習会を通して基本の体捌きや姿勢の大切さ、技との繋がりを意識するよう、そして、指導者の動きをよく見ることを大切に指導された。

南アフリカの講習会で100名を超えることは初めてで、いつも以上に活気のあるものとなった。参加者は講師たちの指導を熱心に聞き、一生懸命に稽古に励んでいた。

3日に行われた演武会は、講習会の講師や参加団体による団体演武が披露され、最後に植芝道場長による総合演武で締められた。

また、講習会期間中に行われた40周年の記念パーティーには南アフリカ共和国日本大使館より内藤康司参事官兼総領事



左より、ジュゼッペ代表、植芝本部道場長、内藤参事官兼総領事

り内藤康司参事官兼総領事臨席のもと、講習会参加者約100名が40周年を祝った。

## ウラジオストク講習会

私(金澤)は昨年11月16日から19日まで、ロシア連邦のウラジオストク合気道連盟の傘下としてウラジオストクで活動している極東合気会の要請により、講習会の指導と昇段審査を行った。今回で11回目の指導になる。

講習会は極東連邦大学を会場に行われ、地元ウラジオストクの他、ロシア国内のハバロフスク、ウシリースク、クラコフコペンスク、バシコルトスタン、ウファからも駆けつけ約100名が参加した。

今回の行事は、有段者以外約半数近くおり、若い世代も多く、今後の南アフリカ国内での合気道がより大きく広がっていくことを強く感じるものであった。(本部道場指導部員 里館)

昇段審査では、極東合気会の指導者として2人目の三段合格者が生まれた。極東合気会の指導者は、30代、40代と若く、合気道への取り組み姿勢が非常に良い。これからこの若い指導者が極東合気会を引っ張ってくれるものと期待している。(本部道場指導部師範 金澤 威)

## ニューデリー講習会



基本技を中心に指導する藤巻師範

私(藤巻)は、昨年12月7日から12日まで、合気道合気会フアウンデーション・オブ・インドにて審査と講習会を行う為、インド・ニューデリーを訪れた。会場は市内のテアクラスタの武道場で行われた。

初日の講習ではカー・パトリト同代表が「今回の参加はデリーの女ではなく、チェンナイ、ムンバイと遠方からも来て頂きました。皆さん、この講習を通じて交流も深めて下さい」と挨拶した。

3団体から43名が集まったが、約7割が白帯の初心者だったので、基本技を中心として講習を進めるよう意識した。

最終日には五級から三段

## ドバイ講習会

私(伊藤)は、昨年11月16日から20日まで、アラブ首長国連邦、ドバイを訪問し、UAE合気道にて講習会指導を行った。

16日夜から3日間で、4回の講習と審査を行った。参加者は50名程で、インド、クウェート、オマーン、サウジアラビアからも参加者があった。



呼吸法を指導する伊藤師範

責任者のマツト氏はオーストラリア人で、仕事の関係でドバイに長期滞在しており、稽古仲間と共に組織を立ち上げ、少しずつであるが、会員を増やしている。さすがに国際都市のドバイで、様々な文化、言語、国籍の人達が稽古をしている。金曜日に審査を行い、四段1名、三段2名、初段1名が合格した。

夜にホテルで懇親会が行われ、ピュッフェのレストランに20名程が集まり、楽しいひと時を過ごした。

## モスクワ講習会

私(佐々木)は平成29年12月14日から17日までロシア連邦モスクワに滞在し、ロシア合気道連盟(ニコライ・エゴロフ会長)主催の講習会で稽古と審査を行った。

講習会では3日間で各2時間半から3時間の稽古が計5回行われ、同連盟傘下の13道場から一般部と少年部の会員を合わせ約270名が参加した。

今回で5回目の同連盟への訪問であるが、初回に比べて参加者数が着実に増えていることが見て取れる。

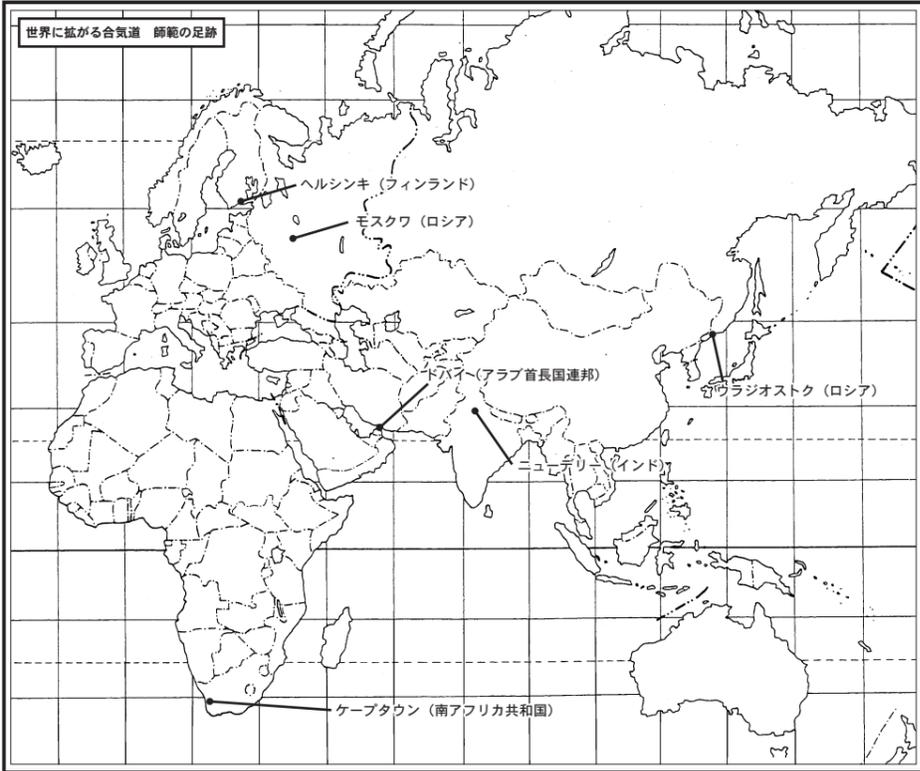
また若年層の有段者達が将来の指導者として責任感を持って講習会の運営に積極的に携わり、稽古に臨んでいる姿も確認でき、同連盟が順調に発展してきていることが伝わってくる講習会となった。

講習会の途中には昇段審査も行われ、初段を5名、三段を2名、そして参段を1名が受験し、全員が無事合格した。

(本部道場指導部師範 佐々木貞樹)

## 合気道探求55号発売

- ・道主対談 佐藤健シユカレディ社長
- ・合気道ゆかりの地をめぐる 東京都
- ・第39回全国少年少女合気道錬成大大会
- ・第16回全国高等学校合気道演武大会
- ・誌上講習会 正面打ち第一教 座法 表・裏
- ・正面打ち小手返し



世界に広がる合気道 師範の足跡

## 「維持会員」へのおさそい

日頃から格別のご理解とご厚意を賜りありがとうございます。

(公財)合気会では合気道の一層の普及発展をはかるため「公益財団法人合気会 定款」にもとづく「維持会員」へのお誘いを致しております。つきましては、賛同頂きご後援・ご援助を賜ることができましたら幸いです。

記

- (1) 賛助会員 この法人の目的に賛同し、事業を援助するために維持会費として年額1口2万円 1口以上を納める個人および法人又は団体
  - (2) 特別会員 この法人の目的に賛同し、この法人を後援維持するために維持会費として年額1口10万円 1口以上を納める個人および法人又は団体
- お申し込みは(公財)合気会事務局まで



# 各道場の昇段者

29年11月15日～  
12月9日  
財合気会登録

### 【四段】

◆本道場＝稲山裕幸、松野仁、波木居恵一、A.Omar、N.Miranda、W.Dawkins  
◆合気道研究会＝スモーク・アンド・ドリュエ  
◆道文研究会合気道上野芝道場＝西井英二  
◆鹿児島合気道錬成館＝徳永博之  
◆山口合気会姫路大津道場＝奥村昭司  
◆水戸合気会＝鷲元明俊  
◆沖繩合気会＝秋野辰一郎  
◆雅会＝吉山健  
◆合気道神武錬成塾＝安藤高明  
◆群馬合気会＝平田利子  
◆大阪合気会＝熊谷ふじ江、竹ノ内義人、吉田実、山邊忍、重信誠、阪本義隆、立木一生  
◆恒心道場＝山中繁  
◆江戸川合気会＝天野利男  
◆市原合気会＝高橋米子、岡村敏枝  
◆合気道修練道場自然館＝梅沢正広、西村昌弘  
◆順風会＝加藤善久  
◆小林道場＝中西一成  
◆祥平塾＝西山道夫、郷田雄志  
◆みずほ証券＝伊藤俊一  
◆船橋合気会＝松浦幸司  
◆調布合気道会＝樋口昌夫  
◆天白道場＝瀧本公一朗  
◆藤沢合気道倶楽部＝早川究  
◆武産合気龍山会＝喜多村泰弘、石崎栄、衣笠博和  
◆豊川合気会伊東道場＝山本英生  
◆函館道場＝杉山涼  
◆麻生同心会＝濱津有介、林知一郎  
◆無門館＝東海林友仁  
◆名古屋合気会＝大田原幹治、久保守賢  
◆緑水会＝古屋恵子  
◆合気道識心館＝竹中美砂恵  
◆堀越道場＝片野徹夫、地蔵豊  
◆石岡道場＝海老澤誠一  
◆清心館道場＝森川修司、藤川成夫  
◆流山合気会＝松島圭一  
◆奄美市合気道連盟＝松岡正憲  
◆合気道場東氣会＝友竹昇  
◆名古屋至誠館＝柏森律子  
◆岡山大学＝黒田順之  
◆CZECH＝J.Dobes  
◆U.S.A.＝W.Henderson、P.Sakellariadis、P.Barrett、C.Naylor、G.Wegner、H.Phillips、J.Bratz  
◆RUSSIA＝A.Kozhaev、V.Normatov、V.Rogov、L.Papazyan、Z.Kravtsova  
◆MEXICO＝C.Cervantes  
◆AUSTRIA＝A.Nikakhtar、M.Schwendinger  
◆U.A.E.＝M.Dhakaan  
◆GERMANY＝K.Haars  
◆CROATIA＝J.Alfirevic  
◆SOUTHAFRICA＝S.Anderson  
◆中国＝蔣熙、周紀煜

### 【参段】

◆むさむら合気道同志会＝津留崎誠  
◆合気道研究会＝但野清隆、山下秀詔  
◆友志館＝アッシャ薫里  
◆凌雲志＝坂本俊也  
◆道文研究会合気道上野芝道場＝東浄恵  
◆瀧田塾＝大伴正人  
◆土浦つくば合気会＝中島勉  
◆合気道神武錬成塾＝高城久嘉  
◆群馬合気会＝平田大介、宮永一真  
◆恒心道場＝小野武士、市川清  
◆合気道悠風館＝高村春美、高田雅彦  
◆合心館谷本会＝乾太郎  
◆桜道場＝石川豊治  
◆三島記念館＝伴正利  
◆長崎合気道会＝川崎達洋  
◆鹿児島合気修練道場＝中夷利成  
◆春水道場＝渡部尚志  
◆順風会＝桑原佳介  
◆小田急相模原合気道教室＝垣内晶子  
◆小林道場＝押井昌幸、辻幸江、里園秀二、M.Burman、N.Juggoo  
◆祥平塾＝蔵俊哉、二上智美、中川善行  
◆杉並合気会＝中村信貴  
◆菅原総合武道研究所＝T.Waugh、B.Chu  
◆合気道正和会＝小松崎拓史  
◆青葉塾道場＝吉村陽、二村友幸  
◆千葉合気道館＝田中雄三、村石祐一、清宮信義  
◆祖師谷合気会＝長谷川洋、田辺明  
◆大阪武育会＝仲野佐方里  
◆大塚道場明道館＝太田風馬  
◆中央区合気会＝奈良佳広、鈴木望美  
◆天白道場＝丹羽博之  
◆武産館＝辻千晴  
◆武産合気龍山会＝間誠  
◆防衛省合気道連合会＝本多健一、佐藤天重  
◆名古屋合気会＝シャルリュエ、アラノ  
◆円悠会＝浅野薫  
◆明治神宮至誠館＝I.Gioulis  
◆合気道識心館＝山添達也  
◆堀越道場＝高橋順

子  
◆石岡道場＝前島光男  
◆熊谷合気研究会＝志保田優樹  
◆中央合気道場＝落合友佳子、W.Chui  
◆清心館道場＝島袋哲  
◆合気道ふれあい塾＝山崎晃彦  
◆流山合気会＝福田重明  
◆新川塾＝田端恭典、布施千尋  
◆つくば合気道会＝山本節子  
◆名古屋至誠館＝松田剛、橋本尚教  
◆浜風合気会＝福原貴之、小牧智寿  
◆合気道稽古会美健会＝小川恵美  
◆花見川道場＝高橋弘子  
◆U.S.A.＝S.Reyes、T.Reyes、K.Rekdahl、D.Nguyen、A.Chavez、S.Ruocco、I.Phillips、L.Cargnin、S.Burrell、N.Johnson  
◆RUSSIA＝A.Istomin、S.Cherepita、A.Goloub、I.Chodorik、V.Sharipov、M.Mekhanikin、S.Ryabov、O.Zakharov、V.Eliseev、V.Baraleychuk、I.Kotlykhov  
◆NEWZEALAND＝A.Henry  
◆GERMANY＝J.Goller  
◆CROATIA＝D.Hocevar  
◆SWITZERLAND＝N.Bartsch  
◆SOUTHAFRICA＝G.Soffiatti、W.Wiggill  
◆中国＝S.Liew

### 【二段】

◆本道場＝藤原直子、中村勝哉、中村紹子、町田竜馬  
◆合気道研究会＝岡崎篤嗣、坂本雅俊、齋藤俊介、三枝範子  
◆道文研究会合気道上野芝道場＝平野博文  
◆山口道場＝三浦靖洋  
◆山口合気会姫路大津道場＝和田保一  
◆沖繩合気会＝古謝政彦  
◆蟹江合気道倶楽部＝山下由美  
◆合気道神武錬成塾＝土屋俊一、橋本裕美子、石井亮、福井ひとみ、多賀渉、丸山拓也、田中陽地、目黒祐子、佐藤晴美  
◆多賀城合気道道場＝阿部山忠幸  
◆熊野塾＝J.Flakowski、B.Bassi、O.Chabot、C.Magand、N.Tranchet  
◆群馬合気会＝関口誉  
◆恒心道場＝藤本智子  
◆合気道鉄石会＝菱田宏文  
◆桜道場＝丸山知良、佐藤トヨ子  
◆長崎合気道会＝上本恵美  
◆順風会＝浅野晋作  
◆小林道場＝妙加谷修久、酒井政嘉、原小枝、川崎隆志、吉家明、中山洋輔、P.Jogoo、V.Juggoo、S.Sayed  
◆合気道千葉千種道場＝T.Nasser  
◆昭島合気道会＝北野純一  
◆祥平塾＝阿部雅博、三好昇  
◆杉並合気会＝上田順次  
◆菅原総合武道研究所＝J.Fulmer、C.Morrison  
◆青葉塾道場＝濱田光春  
◆A & P石垣道場＝坂田智昭、植木史将  
◆船橋合気会＝北口雅一、S.Brown  
◆大宮合気道倶楽部＝守屋悟、福島喜久、川田勉、山野由紀子  
◆大阪合気塾＝井上丈嗣  
◆大阪武育会＝山田一力  
◆大塚道場明道館＝八木田謙二、山岸欽也  
◆中央区合気会＝高尾和弘、上村ゆき子  
◆調布合気道会＝高橋恵美子  
◆藤沢合気道倶楽部＝久世照子  
◆京都近江合気会＝八束智博  
◆品川円明会＝岸本まみ  
◆武産合気龍山会＝須崎和義  
◆明清会＝井川真澄  
◆防衛省合気道連合会＝日高唯志  
◆麻生同心会＝明神弘忠  
◆名古屋合気会＝太田達也  
◆明治神宮至誠館＝樋田久美子  
◆立川市合気道会＝山路司、福島豊  
◆倉吉道場＝尾西博文  
◆堀越道場＝原部隆司、日留田佳弘  
◆高根合気道センター＝山崎敦士  
◆熊谷合気研究会＝福嶋雅隆  
◆今治合気道教室＝日坂奨吾  
◆円友会＝三上数徳  
◆合気道瀬戸義塾＝山本敏平  
◆七曜会＝瀬間誠一  
◆長谷川道場＝石田まり子  
◆流山合気会＝笈尾彬  
◆日本歯科大学O B職員合気道部＝高橋佳生  
◆瑞浪道場大山綾子  
◆新川塾＝林明久  
◆東海合気会＝C.Fitzgerald  
◆千住合気会＝米田大輔  
◆名古屋至誠館＝渡部智彦  
◆合気道稽古会美健会＝鈴木慶心  
◆大阪合気会＝平田春雄、古川美樹子  
◆花見川道場＝杉浦未祐  
◆高崎経済大学＝大久保泰希、佐

藤太一、西脇一輝、関俊憲、林美沙、鈴木稜一郎  
◆名古屋工業大学＝鈴木駿  
◆滋賀医科大学＝渡邊敦子  
◆関西大学＝中野光樹  
◆岡山大学＝正寶瑞貴  
◆大分大学＝尾上周也  
◆法政大学＝吉川未央、石井優美、中嶋崇善、正木伊知子  
◆北海道大学＝谷岡恵利奈、岸優樹、星崎真由美、前田昌花、吉田拓海  
◆名古屋大学＝蓮見伊織  
◆立教大学＝渡辺太地  
◆和歌山県立医科大学＝崎下雄佑  
◆CZECH＝Z.Huml、L.Konopasek  
◆U.S.A.＝K.Bactad、L.Bahar、V.Katafori、J.Anglin、J.Chan、R.Rodas、J.Garcia、J.Judis、C.Heidtke、P.Kuenzler、M.Radloff、M.Le  
◆MEXICO＝A.Gomez、E.Tovar  
◆RUSSIA＝D.Popovchenko、V.Kibish、S.Zhirkov、S.Cherikov、O.Zhakbalariev、O.Lagunova、O.Kostenkova、V.Bulanov、R.Salimov、L.Plavan、S.Gorin、K.Dimitrov、A.Naimushin  
◆NEWZEALAND＝G.Cornwell、李棟明、川口英子、W.Richardson  
◆TATARSTAN＝M. Baranov  
◆FRANCE＝E. Avenel  
◆CROATIA＝R. Makic、J.Chilton  
◆SWITZERLAND＝K. Nielsen  
◆UKRAINE＝P. Kalyuzhnyy、V. Gruk  
◆U.A.E.＝A.Zakzouk、M.Lang  
◆SOUTHAFRICA＝P.Wessels、K.Nel  
◆中国＝村上宏昌

### 【初段】

◆本道場＝佐藤輝昌、相楽光太  
◆合気道研究会＝大野宣之  
◆友志館＝中島仙介  
◆西馬込合気道会＝水井健二  
◆春陽会＝釜浦新一  
◆雄心会＝中居洋一  
◆諏訪道場＝小坂洋一  
◆川崎流気会＝藤木正之、伊藤淳一  
◆尾張合気会＝加藤臣、木全利得、杉本真輝  
◆白岡合気会＝一瀬勝博  
◆若屋合気会＝左海拓  
◆中央合気道高蔵寺道場＝青石知樹、三木穂佳  
◆水戸合気会＝廣瀬典子  
◆志道会＝出村奈央子  
◆沖繩合気会＝西平敏彦、岡田政美  
◆蟹江合気道倶楽部＝中嶋洋介、青山翔哉  
◆熊野塾＝J.Stone、A.Tuglie、S.Stone、V.Wegmuller、S.Broutet  
◆群馬合気会＝高橋英之、稲垣義和  
◆合気道研修館＝山内亜希  
◆恒心道場＝滝澤寛己、笹原珠子、永森千聖  
◆江戸川合気会＝金光俊典、皆川暢生、西野剛  
◆合気道鉄石会＝山田宗春  
◆合心館谷本会＝山口直樹  
◆国分寺合気会＝永田誠宏  
◆桜道場＝森山雅友  
◆春水道場＝境谷良、松原邦男  
◆小田急相模原合気道教室＝田中あさ美、桑野凖彩  
◆小林道場＝渡邊仁美、大串明彦、佐野直人、小林むつみ、E.Witte、H.Schroeder、J.Rayapen、M.Feinman  
◆祥平塾＝江島瞳、岸田淳、冨本隆介  
◆いわき合気会＝佐藤春美  
◆神武館＝阪井あいら  
◆菅原総合武道研究所＝E.Ulrich、P.Bertling  
◆心和会＝藤本綾子  
◆A & P石垣道場＝松井一馬、西澤勝美  
◆船橋合気会＝上中聡史、塚本泰明  
◆祖師谷合気会＝金谷与、浅山竜輝、北見珠子  
◆大宮合気道倶楽部＝横田弘一、坂本裕子、鈴木薫  
◆大阪武育会＝佐久間雄一郎  
◆大塚道場明道館＝小池準平  
◆大田区合気道会＝羽賀卓司  
◆竹豊館＝前川起輝  
◆中央区合気会＝田中智子  
◆調布合気道会＝早矢仕基、野澤隆弘、村上仁志、末松望  
◆伊豆至誠会＝長田雄太  
◆阿久比合気道＝鈴木晴登、轟亮  
◆取手合気会＝皆川俊一  
◆よみうりカルチャー＝横浜＝齊藤享  
◆よみうりカルチャー＝大森＝阿部幸子  
◆京都近江合気会＝東健人  
◆品川円明会＝藤井剛史  
◆武産館＝立平莉久、朝日康喜、中畑光希、湯川和弘、櫻山颯渡  
◆合気道黒石塾＝小林千波、成徳響、高田祐旗、原田良江、原田智弘  
◆麻布道場＝中井正基  
◆名古屋合気会＝三浦恭子、吉岡幸子  
◆円悠会＝吉野健貴、平林裕貴  
◆明治神宮至誠館＝原田義治、柳田哲也、三浦滋、赤城合動、C.Androniki、P.Vardopoulos、G.Alexander、A.Daria、L.Alexan-

der、K.Alexandr  
◆立川市合気道会＝高月陽介  
◆合気道識心館＝小谷啓仁  
◆松江道場＝福田美波、野川楓、古橋梅  
◆藤浪塾＝糟谷爽至、木村颯夫、古橋嶺  
◆堀越道場＝小松吉春、木村利司、田中俊男、安食文雄、水書史稔  
◆ヨークカルチャーセンター＝日立＝鈴木智秀  
◆合気道瀬戸義塾＝安藤更紗  
◆合気道ふれあい塾＝M.Monika  
◆多治見道場＝河内啓  
◆朝日カルチャーセンター＝立川＝増田裕貴  
◆中央合気守道場＝K.Ho  
◆中央合気道場＝若山由美  
◆和合会＝五十嵐美穂  
◆流山合気会＝永井陽介、山崎亨、杉尾敏子  
◆河北道場＝神前俊介  
◆合気道潮塾＝大原章太郎  
◆つくば合気道会＝石原修一、ローガン・ローレンス  
◆東海合気会＝森本光哉  
◆井蛙塾＝鈴木悠李  
◆ヨークカルチャー＝三郷＝北面千枝、烏丸光倫  
◆新星合気会＝渡邊万紀子、行武雄三  
◆名古屋至誠館＝清水有紀  
◆合気道西神道場＝名田隆太、吉野耕太  
◆合気道氣噴道場＝山本和光  
◆合気道稽古会美健会＝森川美琴  
◆瀧田塾＝小谷野隆史  
◆花見川道場＝濱垣直子  
◆愛知学院愛知中等学校＝伊藤朋代  
◆東京都立竹台高等学校＝平良治也  
◆京都女子大学＝伊藤彩、伊東加奈子、楠本有希恵、植田桃子  
◆同志社大学＝菊池勇樹、森本天音、石橋昂大、北智仁、滋賀医科大学＝井手菜月  
◆関西大学＝藤田香澄、古谷優美、井上宗太郎、高原里沙子  
◆立命館大学＝常峰瑛宏、坂森志保、藤伸哉、山崎和剛、藤井真依子  
◆相模女子大学合気道部＝佐保美里、山岸夏海、後藤千奈、佐藤仁美  
◆高知大学＝貝柄佐織  
◆相山女学園大学＝工藤春佳  
◆東京経済大学＝板橋創太郎、仲井光希、杉山賀彦  
◆法政大学＝浦夏海  
◆酪農学園大学＝須古将太、柄沢颯人、今泉誠人、高橋葉  
◆皇學館大学＝野口幹太、加藤亮、長瀬留実  
◆立教大学＝石井里奈、尾形和紀、小野慎太郎、清水麗生、山本瑞歩、和田光里  
◆東洋大学Ⅱ部＝村田森朱  
◆岐阜医療科学大学＝神邊真帆、奥村幸  
◆CZECH＝E.Kuchukyan  
◆FINLAND＝K.Kuula、E.Lehtonen、M.Saarikoski  
◆U.S.A.＝T.Camacho、J.Keawjai、I.Koniaris、I.Muzafarov、S.Panagiotopoulos、J.Ryan、E.Sagay、M.Le、J.Ostermann、E.Orquera、J.Anderson、J.Mettchen、W.Aukerman、F.Rahn、C.White、S.Ohshima、H.Takaku、Y.Takaku  
◆TATARSTAN＝A.Kamalov、N.Morozov、D.Sultanov、E.Sharafutdinov、T.Shigapov  
◆MEXICO＝J.Vargas、L.Cotreras、R.Perez、R.Ortega  
◆U.K.＝D.Smith  
◆RUSSIA＝E.Lyakhova、D.Kuznetsov、N.Lunev、V.Astanin、A.Karpenko、A.Voronin、S.Zaykov、M.Zhilyakov、E.Segal、G.Khudoyan、I.Silkina、S.Zayrulin、G.Pyshnenko、M.Sherstrikov、E.Manushkin、O.Repin、N.Konkov、O.Safina、A.Shilkin、J.Golubeva、Z.Buzzykaeva、E.Mingaleva、E.Buianov、K.Zhitnaya、V.Sekova、D.Zhitnaya、V.Kalashnikov、A.Dolmatov、V.Drobaha  
◆AUSTRIA＝C.Vaccaro  
◆NEWZEALAND＝A.Taler、K.Kereopa、K.Warder、O.Rechiche、R.Gosai  
◆FRANCE＝E.Avenel  
◆CROATIA＝V.Kosturjak、L.Flores、J.Valdevit、J.Filipic、O.Eterovic、A.Vahcic、E.Prosic、D.Jodanovic、S.Kucic、A.Vidic、K.Mestrovic、Z.Brajkovic、F.Kucan、P.Gulis  
◆SWITZERLAND＝Y.Warner、B.Justesen、M.Moller  
◆U.A.E.＝A.Zakzouk、E.Palma  
◆SPAIN＝A.Hernandez、R.Pastor、R.Palacios、H.Castillo、O.Ortiz  
◆SOUTHAFRICA＝I.Huisman、B.Ashman、G.Zuccarini、C.Verwey、R.Astrie、R.Coetzee、G.Booyens、M.Lansberg  
◆ISRAEL＝G.Levin、M.Ehert、R.Beier  
◆中国＝徐偉、鄧超、朱煒、趙娟



小山指導員による稽古風景  
道部等から若い人を中心になっており講習会の最後まで活気あふれた講習会が行われた。講習会が終わった後の食事会は去年より参加者が増え、道場間の交流も深まっていたと感じられた。(本道場指導部員 小山雄二)

**フィンランド講習会**  
私(小山)は昨年12月1日から3日まで、フィンランドでの講習の為に、首都ヘルシンキから車で約2時間の距離にあるタンペレを訪れた。フィンランド合気会の有志団体21道場により開催された講習会には86名が参加した。  
講習会は1日の夕方から行われ3日間で子供の稽古を含む計6回の稽古が行われた。参加者は大学の合気道部等から若い人を中心になっており講習会の最後まで活気あふれた講習会が行われた。講習会が終わった後の食事会は去年より参加者が増え、道場間の交流も深まっていたと感じられた。(本道場指導部員 小山雄二)

小山指導員による稽古風景

**第12回国際合気道大会DVD**

内容：植芝守史道主の特別講習をはじめ、世界各国師範の講習を収録。  
本編：九時間  
価格：五、四〇〇円(税込み)  
申込み方法：名前、住所、電話番号、所属団体を明記の上ご注文下さい。

申込み先：国際企画センター  
〒一四三、〇〇二四  
東京都大田区中央五、一八、一  
FAX：〇三、三七五五  
E-mail：ozakisho1818@gmail.com

▽小林幸光指導部師範は、1月25日から29日まで、オランダ・スロベニアの講習会に派遣される。  
▽栗林孝典指導部師範は、1月25日から29日まで、ブルガリアの講習会に派遣される。  
▽金澤威指導部師範、里館潤指導部員は、1月25日から2月1日まで巡回指導の一環としてタンザニアに派遣される。  
▽大澤勇人指導部師範は、2月9日から13日まで、イタリアの講習会に派遣される。